

1 なぜgetが重要か

この章では、get という単語を見てみたいと思います。私は今まで著した本の中でこの動詞を何度も扱ってきました。これは、**get** が何百もの句動詞に使われ、句動詞以外でも非常に一般的な動詞として使われていることを考えると、避けられないことです。句動詞としての get の意味の区分については、『句動詞の底力』で解説しています。もちろん、ここでは新しい例文やフレーズを用いました。

get の句動詞を見る前に、この動詞の歴史について簡単にふれ、通常の動詞として使われる場合の get の意味についてもふれておきたいと思います。**get の歴史と意味の両方を調べると、get を用いた句動詞の意味が明らかになります。**

2 getの歴史と意味

英語の起源を遡れば、4000～5000年前の黒海とカスピ海の北部に住んでいたインド・ヨーロッパ人の祖先にたどり着きます。(これは現代の学問で最も一般に是認された説と思われる) これらの人々はインド・ヨーロッパ祖語を話し、get や obtain などの意味と関わる *ghend あるいは *ghed という単語形式をもっていました。(言語学では再構成された形は * で示されます)

この言葉の痕跡は、apprehend, comprehend, beget, guess, forget などの現代語にも見られます。もちろん get もそうです。インド・ヨーロッパ祖語から派生した言語(娘言語)では、この get に相当する語には、seize (つかむ)、take (取る)、try to get (手に入れようとする)、guess (当てる) などの意味があり、「**困難**」や「**努力を要する**」というニュアンスが含まれている傾向があります。

この「困難」や「努力を要する」のニュアンスは、次の例に示すように、get が(句動詞の一部としてではなく)単独の動詞として使

われる場合に多くの意味で見られます。

▶ 良いものを入手する(おそらく努力を伴って)

- Sheila **got** 100% in the test.
「シーラはテストで満点を取った」
- I finally **got** permission from my wife to go abroad.
「私はついに妻から外国へ行く許しを得た」
- I **got** a sports car for my birthday.
「誕生日にスポーツカーを買った/もらった」
- Can you **get** what I am saying?
「私の言っていることがわかりますか/聞き取れますか」

▶ 悪いものを受け取る

- I **got** a bad case of measles.
「ひどいはしかにかかった」
- Bob **got** a hard punch in the face.
「ボブは顔に強烈なパンチをくらった」
- Ben **got** a lot of criticism for his rude behaviour.
「ベンは無礼な行動で多くの批判を受けた」
- It is natural that she should **get** ten years in prison.
「彼女が懲役10年を受けるのは当然だ」

▶ 努力して入手する

- Speaking to him was *like* **getting** water out of a stone.
「彼と話してもムダだった」
【注】like get water out of a stone 「ほとんど不可能/非常に難しい」
- You should be able to **get** the answer in about ten minutes.
「10分くらいで答えがわかると思います」